

(看護学科)

教育	目的：個々の教員による授業・教授法、学生募集並びに学生支援能力の開発		
	到達目標（個人）	FDプログラムの例	評価指標の例
フェーズⅠ： 導入（知る）	<ul style="list-style-type: none"><li>① 大学の教育理念・学科の教育目標・担当科目のカリキュラム上の位置付け及び目標（ねらい）、学事暦について理解する。</li><li>② 授業形態（講義、演習、実習、実験）、授業の運営に関連する職種、組織について理解する。</li><li>③ 学生の特徴を理解する。</li><li>④ ①から③に基づいて、担当部分の指導案作成し、先輩教員から助言を受ける。</li><li>⑤ 授業補助および授業を実施する。</li><li>⑥ 授業・成績評価の目的、方法を理解し、先輩教員の助言を得て学生の成績評価を実施する。</li><li>⑦ アドミッションポリシー、入試形態などを理解し、入試に協力する。</li><li>⑧ 先輩教員の助言を得て学生支援を実施する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>1. オリエンテーション</li><li>2. ガイダンス</li><li>3. シラバス（授業要項、実習要項）</li><li>4. 先輩教員授業聴講</li><li>5. 授業補助</li><li>6. 実習評価表、評価基準</li><li>7. 科目試験の準備・評価</li><li>8. 定期試験実施要項、定期試験監督の補助</li><li>9. 大学広報、大学案内、その他大学刊行物</li><li>10. 学生支援規定（チューター制、オフィスアワー）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>1. プログラムの参加</li><li>2. 授業補助の実施状況</li><li>3. 指導案の作成状況</li><li>4. 定期試験補助の実施状況</li><li>5. 相談・助言の求め状況</li><li>6. チューター役割の実施状況</li></ul>
フェーズⅡ： 基本（実践）	<ul style="list-style-type: none"><li>① 学生のニーズやレディネスを把握する。</li><li>② 担当する科目および学生に適した目的・目標を設定し、シラバスを作成する。</li><li>③ 科目に適切なテキストや資料を選択し教材を作成する。</li><li>④ 授業を実施する。</li><li>⑤ 授業形態に適した成績評価を理解し、学生の成績を評価する。</li><li>⑥ 授業を評価するための基本的な方法を知り、授業を評価する。</li><li>⑦ 後輩教員に演習や実習教育に関する適切な助言をする。</li><li>⑧ アドミッションポリシーが説明でき、よき学生獲得に協力する。</li><li>⑨ 学生支援を実施する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>1. セミナー・ワークショップ</li><li>2. 授業評価</li><li>3. 授業公開プログラム・模擬授業</li><li>4. 教育に関する学会への参加</li><li>5. 授業日誌のためのフォーマットの提供</li><li>6. メディア学習(eラーニング、ビデオ・DVD学習)</li><li>7. 専門教育に関する文献リスト</li><li>8. 授業の手引き</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>1. プログラムの参加</li><li>2. 同僚・先輩からみた行動の変容度</li><li>3. eラーニング教材のアクセス</li><li>4. 学生による授業評価における満足度、目標の達成度、授業の改善度</li><li>5. シラバスにおける目的・目標、授業計画、成績評価の方法に関する記載内容</li></ul>

<p>フェーズⅢ： 応用・発展 (開発・改善と 成果の報告・発 表)</p>	<p>① 授業運営についての多様な方法を取り入れ、担当科目の授業をより充実・発展させる。 ② 教材及び授業実践方法について創意・工夫し、学生の知的好奇心を刺激する。 ③ カリキュラムの構築について理解し、カリキュラム開発・改善に協力する。 ④ 学生の成長を促すような、成績評価について工夫する。 ⑤ 学生による授業評価及びピアレビューに基づく授業評価結果を、授業改善に生かす。 ⑥ 後輩教員の授業案や教材の作成に助言をする。 ⑦ 教育改善の成果について報告書(論文)をまとめる。 ⑧ 学生獲得のための広報活動を行い、よき学生獲得に協力する。 ⑨ 学生支援に創意工夫する共に後輩教員の学生支援の相談・助言をする。</p>	<p>1. ワークショップ・セミナー 2. 授業公開・授業参観プログラム 3. コンサルテーション 4. カリキュラム資料 5. メディア学習 6. 教育に関する文献リスト 7. 授業改善の成果報告(論文・報告書) 8. ティーチング・ポートフォリオ 9. 教科書作成の支援</p>	<p>1. プログラムの参加 2. 同僚・先輩からみた行動の変容度 3. eラーニング教材のアクセス 4. 学生による授業評価における満足度、目標の達成度、授業の改善度 5. シラバスにおける目的・目標、授業計画、評価に関する記載内容</p>
<p>フェーズⅣ： 支援 (教授と支援)</p>	<p>① 個々の教員に対し、授業実施に関し支援(相談・助言)する。 ② 所属機関に適したFDプログラムを企画・運営する。 ③ 専門分野の教育における国内外の動向について説明する。 ④ 国内外の専門教育の動向を踏まえてカリキュラムを評価分析し、カリキュラムの開発・改善を行なう。 ⑤ 教育システム作り、および管理に協力する。 ⑥ 学生獲得のための広報活動を実施し、よき学生を獲得する。 ⑦ 個々の教員に、学生支援の相談・助言を行なう。</p>	<p>1. コンサルテーション 2. 文献リスト 3. 授業支援ツールの開発 4. チーム・ティーチング 5. ネットワーク化、システム化の支援 6. シラバスの作成</p>	<p>1. プログラムの参加 2. プログラムの参加者・利用者の満足度、目標の到達度 3. メンティによるメンター評価における満足度、目標の到達度</p>